

巴橋は飯盛山の全景を見ることができ、待月橋と並んで、大人気のある撮影スポットです。飯盛山頂までは歩いて約20分。古い町並みや遠くの足助城まで美しい眺めが楽しめます。また、神様が産つたとされる巨石の周りに足助八幡宮で購入した絵馬が掲げられます。

巴橋から

- AED 設置場所
- Wi-Fi スポット
- 撮影スポット
- 公共トイレ
- 授乳室・搾乳室
- 貸しロッカー
- 喫煙所

たいけつきよ 待月橋

香風溪のシンボルの存在の待月橋。撮影スポットとして人気のある場所です。また、飯盛山の岸には「五色もみじ」と呼ばれるもみじがあり、1本の木で緑、黄緑、黄、橙、赤の五色のグラデーションが1度に見られる珍しい木です。



お願い

ごみは持ち込まない。
捨てない。持ち帰る。

今日も、明日も、100年先も、
美しい香風溪を守るために
ご協力をお願いします。



重建の町並みへ



足助の町並みは、尾三・三河と信州を結ぶ伊那街道（中馬街道～塩の道）の重要な中継地として栄えた商家町です。

旧鈴木家・旧田中家・足助中馬家でスタンプを押すとカララスタンプがもらえる「DENKEN伝説スタンプラリー」開催中

紅葉みどころマップ 第70回香風溪もみじまつり



期間 11月1日(土)～30日(日)

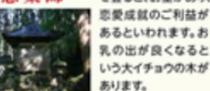
香風溪のもみじは今から400年前、香積寺11世の三栄和尚が経を唱えながら植えたのが始まりで、長い間「香積寺のもみじ」と呼ばれていました。1930年に大阪毎日新聞の本山部長一社長により、香積寺の「香」、巴川をわたる奥涼とした風気の「風」から「香風溪」と名付けられました。

足助城 別名は真弓山城



戦国時代に足助を領有していた鈴木氏が築いた山城です。発掘調査を元に再建されました。本丸からは城下の町並みや街道が見えます。

つまごいやくし 夫恋薬師



藩部駐車場から階段を登ると、お堂があり、恋愛成就のご利益があるといわれます。お乳の出が良くなるという犬イチョウの木があります。

つり橋(香風橋)付近



香風溪の奥側にある赤いつり橋(香風橋)付近は、朝日がよく当たる場所。そのまぶしい光に照らされたもみじが、色鮮やかに巴川の静かな水面に映ります。ここは園地でも比較的早めに色づき始めます。

香風溪広場



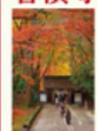
川からの冷気の影響が早めに色づきます。飲食ブースもあります。

三州足助屋敷



香の里山の暮らしを今に伝える体験型施設で、門をくぐるという感覚になります。職作りや藍染めなどの手仕事の見学が出来ます。

こうじゃくじ 香積寺



香風溪の名前の由来のお寺



香積宗の古刹で、1427年飯盛城の城主足助氏の居館跡に創建されました。開基は開白二乗良基と成瀬三吉丸(犬山城主、成瀬家の始祖)、開山は白幡祥輝師です。山門からの紅葉が美しい。